



番町だより

千代田区立番町小学校

No.5

9月号

令和3年9月1日 発行

いくつもの「障害」を乗り越えて…

学校長

長かった夏休みが終わり、緊急事態宣言が発令されているさ中ではありますが、令和3年度の2学期が始まりました。1学期の始業の頃の見通しとは異なる2学期の開始となります。これまでと同様に最優先にすべきことが何かを検討し、学校がしなければならないことを一つ一つ、時期を逸することなく進めていくことを改めてお約束いたします。

さて、オリンピック選手たちの活躍による余韻が冷めやらぬ中、8月24日より「東京2020パラリンピック」が開催されています。オリンピックの時もそうでしたが、直接の戦でなくともパラリンピックのテレビ中継や報道などから得られる情報から、世界各国の選手の躍動に誰もが心を動かされていることだと思います。とりわけ、パラリンピック競技については、単に個々の選手がハンディキャップをどう克服したのか…というだけでもすごいことなのですが、そのことに付随するたくさんのストーリーがあることを想像すると、健常者かそうでないかは全く関係なく、自らが人間（ひと）として、改めて「がんばっているのか？」と自問自答してしまう毎日です。

それについても、この2つの世界的なイベントが日本で開催されることについては、実施の決定をしてきた組織委員会などの方々ならずともその意義を実感するには十分なこの2021年の夏であったかと思います。その中で、開会式に行われた選手宣誓の文言について注目してみました。言葉の意味を日本語で理解できるというのは一生に一度の機会であり母国多を選んでいました。オリンピックでは、「調和と平等」、パラリンピックでは「差別をなくすこと」についての言及がありました。とりわけパラリンピックでの国枝選手、浦田選手と審判員、コーチ役員の方々が使った「いかなる差別」との表現は、オリンピックの「あらゆる…」よりも言葉の強さを感じました。人類にとって未だに解決できない「差別をなくすこと」については、教育にも課せられている大きな課題であり、この言葉の重みははかりません。いつしか、「多様性」という言葉が当たり前のようになり、「障害」という概念さえも特別視するものではないこととして認識されるようになります。そして、何より「差別」への言及について、オリンピック・パラリンピックの宣誓にあえて使わなくて済むような世界の到来を待ち望みたいところです。

2学期末、12月4日に番町小学校は、創立150周年を迎えます。式典の規模の縮小など当初の構想のようにはできないものの、その瞬間を子供たちにとって生涯の記憶にとどめられるような最高の機会にするために、様々な“しようがい”を乗り越えてまいります。

9月の目標	生活目標 規則正しい生活を送ろう
	保健目標 規則正しい生活習慣を身に付けましょう
	給食目標 上手に食べよう(食事のマナー)

【スクールカウンセラー来校日】

◎都 SC 2日、7日、16日、30日

◎区 SC 3日、7日、10日、17日、24日、28日

【発達支援アドバイザー来校日】 16日

*面談を希望される方は、担任または副校長へお知らせください。

9月の行事予定

9月	曜	朝会時程	行事予定	校庭開放
1	水	C	始業式 C 時程2時間	
2	木	B4	給食始 安全指導 4時間授業 発育測定(6年)	
3	金	B4	発育測定(3,4年) 4時間授業	
4	土			
5	日			
6	月	B5	プール納め 発育測定(1,2年) 5時間授業	
7	火	B5	発育測定(5年) 都意識調査(6年) 5時間授業	
8	水	B4	B 時程 4 時間 都意識調査(4年) 避難訓練	
9	木	B5	5時間授業 都意識調査(5年) オンライン保護者会 Teams(2,4,6年)	
10	金	B5	ラジオ体操朝会 5時間授業 オンライン保護者会 Teams(1,3,5年)	
11	土			
12	日			
13	月	全朝		
14	火	読書		
15	水	B5		
16	木	読書		
17	金	読書		
18	土			
19	日			
20	月		敬老の日	
21	火	読書		
22	水	B5		
23	木		秋分の日	
24	金	読書	運動会前日準備	
25	土		晴天:運動会 雨天:休日	
26	日		前日運動会:休日／前日雨天:運動会／雨天:B4時程弁当不要	
27	月		振替休業日	
28	火	読書		
29	水	B5	下校指導	
30	木	読書		
1	金		都民の日	

150周年番町大運動会

体育主任

9月25日に150周年番町大運動会が行われます。今年度も昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、児童同士の密集・接触のないようプログラムを見直し、「短距離走」と「表現」のみを行います。赤白に分かれての勝敗は決めません。

低・中・高学年ごとに時差をつけて登校し、互いに鑑賞します。心と体を一体に捉え、生涯にわたって心身の健康を保持促進し豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成することが教科体育における目標です。限られた条件の中での実施となります。互いの演目を見合ふことを通して、運動への親しみや、楽しさや喜びを味わうことのできる機会としていきます。Teamsを活用し、配信も行いますので、そちらもご覧頂けたらと思います。

ステップ教室(特別支援教室)について

特別支援教室担任

ステップ番町教室は「得意なことをさらにできるようにしたり、苦手なことをやり遂げるために自分なりの方法を先生と一緒に考えたりするための教室」です。一人一人が自分の目標を達成するために、週1~2時間の学習をしています。

多くの保護者の方々から「遅れた学習について個別で学習をする教室だと思っていた」というお話を耳にしますが、東京都の規則により教科書学習の補充指導はしていません。言葉を介した自己表現が苦手な児童、気持ちの切替や集中が苦手な児童、特定の学習に困難さが持続している児童が学習をしています。

ステップ番町教室について詳しくお知りになりたい方、次回の入級審査(1月開始)を希望する方は9月末までに、学級担任または養護教諭へお問い合わせください。

